

令和元年度第1回沖縄県がん診療連携協議会 離島・へき地部会議事要旨

日 時：令和元年6月11日（火） 16：00～18：00

場 所：琉球大学医学部附属病院 がんセンター

構 成 員：13名

出 席 者：<がんセンター>5名

赤松道成（北部地区医師会病院）、戸板孝文（中部病院）、朝倉義崇（中部病院）、
友利寛文（那覇市立病院）、増田昌人（琉球大学医学部附属病院がんセンター）
<スカイプ参加>5名

松村敏信（宮古病院）、中山幸子（宮古病院）、平良美江（八重山病院）、
真栄里隆代（ゆうかぎの会）、我如古春美（北部地区医師会病院）、

欠 席：3名

尾崎信弘（八重山病院）、田盛亜紀子（やいまゆんたく会）、
仲里可奈理（沖縄県保健医療部健康長寿課）

陪 席 者：1名

岸本夕紀（琉球大学医学部附属病院がんセンター）

【報告事項】

1.平成30年度第4回離島・へき地部会議事要旨について

松村副部長より、資料1に基づき平成30年度第4回離島・へき地部会議事要旨の報告があり、承認された。

2.離島・へき地部会 委員一覧

松村副部長より、資料2に基づき部会委員の報告があり、メンバーが確定した。

3.「北部・宮古・八重山医療圏におけるがん医療の現状報告書」について

松村副部長より、資料3に基づき八重山病院は「乳がん」の診療が今年度から月1回になったと報告があった。宮古病院は「乳がん」の診療は月2回那覇西クリニックから外来応援が来ており、化学療法等の相談を行っているとの報告があった。これらは会議資料3の<離島・へき地における疾患別対応状況・課題>に追記することとなった。

4.「要望書」について

松村副部長より、資料4に基づき、要望書は具体的にどこに提出するのかと質問があり、まだ正式に提出はしていないが、提出に向けて進めている段階と事務局から説明があった。宛先は県知事宛が良いのか病院事業局が良いのか保健医療部が良いのか議論した。大学に対する要望書を提出しても良いのではないかと松村副部長より提案があった。

5.その他

戸板委員より、県立八重山病院に月1回放射線治療外来を開設し、第1火曜日に中部

病院の玉城稚奈医師と交代で外来診察を行うと報告があった。松村副部長より、県立宮古病院は月 1 回、南部医療センターからの応援で放射線治療外来を始めたと報告があった。朝倉委員より、県立八重山病院と北部病院に月に 1 回応援に行くことになったと報告があった。

【協議事項】

1.今年度の事業計画について

増田委員より、昨年度 1 年間かけてがん医療の現状報告をまとめたものを、今年度はどこまで確実にやったらいいのか線引きをして、病院事務局や関係の諸機関へ提出したらどうかと提案があった。そのため次回の会議までに各病院の希望をがん種ごとにまとめて議論することになった。まとめたものは一旦がんセンターで集約することとなった。

戸板委員より、安定した回線で web 会議ができる環境作りが重要だと思うので、今年度は web 環境の問題点と課題を洗い出す作業を行ってはどうかと提案があった。また朝倉委員より、県立病院内で高速な回線は周産期の胎児エコーなので、その回線を分けることができればかなり速い回線ができると思うと提案があった。環境調査など時間をかけてでも少しずつ前に進めていくことが全会一致で決まった。

2.今年度の開催日程について

令和元年 9 月 10 日（火） 15：00～に決まった。

3.その他

各委員に委嘱状が授与された。スカイプ会議の委員には、郵送にて委嘱状を送付した。